

事業所名 社会福祉法人主愛会 児童発達支援事業所 まゆみ

公表日 2026年 3月 27日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	・法令は厳守しているが、活動の内容に応じてメインの部屋以外の活用や隣接する保育園の遊戯室、地域の広場等を利用している。	・夏季期間に外出ができず、室内で過ごすことが多いため発散できるように対応を検討したい。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	・十分な人数を配置しており、個別に対応することが可能な人数である。	・継続して十分な配置ができるように努めていく。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	・全員に向けてではなく、個別に対応し、よりこどもたちの自己決定の力がのばせるよう配慮している。	・子供たちの特性に応じて環境の配慮に努めている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	・毎日の掃除・消毒、整理整頓を行っているため、感染症の発生も少ないと感じている。	・継続していく。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	・必要に応じて、こどもが個別で使用できるように環境を整えている。	・継続していく。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	・ミーティングやその都度必要に応じて実施している。	・継続していく。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・保護者に向けた評価表の結果により意向を把握することで、気づきの機会になりミーティングで周知、意見交換を実施している。	・継続して業務改善につなげていく。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・職員の意見交換共有ができています。	・継続して全職員から意見等を聞き取り、業務改善に繋げていく。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2	・外部評価は行っていません。	・必要に応じて取り入れていく。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・研修の機会が増え、情報・知識をアップデートできています。	・継続して職員全体のスキルアップを目指していく。
適切な支援の	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	・職員間で話し合い作成を行い、ホームページやアプリにて情報公開を行っている。	・年度末に職員間で見直しを行い、提供している支援を公表していく。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	8	0	・面談票や成長記録の利用や保護者様との聞き取りなどのアセスメントを行い、ニーズや課題を共有して計画書の作成を行っている。	・継続して作成を行っていく。
	13 個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・保護者様とのモニタリングと職員間でのモニタリングを実施して評価を行い、個別支援計画案を作成して職員間で共有して支援の内容を検討している。	・継続して実施していく。
	14 個別支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	・新たに作成する度に全職員が共有して、支援を実施している。	・継続して実施していく。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	・共通理解が進むよう、密に話し合う時間をとっている。	・行動分析がより行えるように新たなツールの導入を検討していく。
	16 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	・アセスメントを行う際に保護者様の意向や思い、考えに基づいて具体的な支援内容を設定している。	・継続して実施していく。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	・ミーティングで実施した活動の反省を行うなどより良くできるように努めている。	・より良い支援が実施できるよう、継続していく。

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・季節を取り入れた内容や新しい活動ができていく。	・より良い支援が実施できるよう、継続していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	・子供たちに合わせて、計画の作成を行っている。	・継続していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	3	・事前に内容を確認したり、自分の分担を知ることができている。	・開始前の時間にミーティングができるように業務改善を行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	・気づいたこと、気になったことを伝えることができている。 ・必ずではないが気になることがあれば共有している。 ・打合せの時間を設けているわけではないが、都度気付いた点等の共有が行われている。	・時間を設定して毎日実施できるように業務改善を行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・週間記録で振り返ることができている。 ・アプリを通して保護者様にも共有して記録している。	・継続して実施していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	・6か月内にモニタリングを実施し、必要に応じて変更を行っている。	・継続して実施していく。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	・児童発達管理責任者や保育士が参画できるように調整し、対応している。	・継続していく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	・併用の保育園（幼稚園）とは定期的に見学や情報共有を行うなど密に連携している。医療機関ともご家族の希望に応じて対応している。	・継続して連携していく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	・定期的に保育所や幼稚園等を訪問し、情報共有と相互理解を図っている。	・継続して連携していく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	・在籍園がある児は、必要に応じて実施している。事業所利用のみの児童は、必ず移行先に情報共有を行っている。 ・わからないため未回答者2名。	・継続して実勢していく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	0	・相談員との相談等で、助言を頂く機会があり、有意義に思う。 ・必要に応じて管轄のセンターに連絡を取り、助言をいただいている。 ・連携を行っているか把握しておらず、未回答者4名。	・職員への周知を行い、必要に応じて環境を整えていく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	0	・未達成な面を今後、詰めていきたい。 ・隣接する保育園での交流。 ・活動予定。	・交流を深めていけるよう努めていく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・送り迎えや送迎時、アプリ、電話等を通して日々の情報共有を図っている。	・継続して行っていく。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	・保護者向けの研修は実施していないが、個別でペアレント・トレーニングの情報提供や助言を行っている。 ・定期的におはなし会を開き、情報共有の場がある。	・情報発信を全体に行えるように検討を進めていく。研修等は必要に応じて機会の検討を行っていく。	
35	重要事項説明書、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・契約時に1つ1つ説明を行い、分からないことがないか確認をとってからご署名いただいている。	・今後も丁寧な説明を心がけていく。	

保護者への説明等	36	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・契約時やモニタリング時には意向の確認を行い、成長と共に変化する意向に対応している。	・継続して行っていく。
	37	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	8	0	・契約時やモニタリング時に内容の確認を行い、作成して同意後にご署名をいただいている。	・保護者様から同意が得られるよう努めます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・随時相談が可能であり、必要に応じて事業所から提案することもある。助言や支援、情報提供を行っている。モニタリング時には定期的に面談を実施している。	・継続して実施していく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	・年に1回ではあるが、保護者(家族)参加型の行事(運動会)を行なっている。 ・随時、お話し会開催。 ・保護者のみのおしゃべり会実施。 ・お話し会を頻繁に行っている。	・父母の会や保護者会の導入は必要に応じて検討するが、おしゃべり会で保護者同士の交流はできていると感じている。 ・きょうだい同士での交流に関しては導入できる機会を検討する。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・相談希望の際、敏速に日程調整して実施できているのではないかなと思う。	・随時実施していることを周知できるように努めていく。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・アプリを使い、毎日の連絡や月1回のまゆみ通信、活動予定配信、写真共有で日々の様子を発信している。 ・ホームページにも月の様子や活動内容を掲載している。	・継続していく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・個人情報同意・誓約書の内容に従って個人情報を使用している。	・継続して細心の注意を払い取扱いを行っている。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・言葉では難しい時でもイラスト等を用いて伝えられるように努めている。また、日本語が難しい方のために翻訳機を常備している。	・意思疎通が円滑に行えるよう努めていく。
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	4	・散歩の機会が増え、地域の方に会うことが増えたと思う。 ・地域住民を招待すること行っていないが、施設見学は受け入れているため併用の幼稚園(保育園)や事業所、民生委員など希望があれば対応し、見学や施設説明を実施している。	・招待に関しては、必要に応じて機会を検討していく。 ・継続して施設見学を受け入れていく。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	・各マニュアルを策定し、訓練時や訓練後にマニュアルを抜粋した資料の添付等を行い、周知を図っている。 ・避難訓練では、各発生を想定した訓練を実施している。 ・職員は研修を通してマニュアルを提示することで全職員への周知ができています。	・継続して実施し、保護者様へマニュアルの周知を図っていく。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・BCP(災害・感染)の策定し、引き渡し訓練時に並行してBCP訓練を行い、冬には感染症の訓練を実施した。	・継続して実施していく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	・契約時にアセスメントを行い、お子さんの状況を確認している。	・継続して実施していく。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	・医師の指示書を提出いただき、内容に基づいて、栄養士を含めた面談を行いアレルギーチェック表にて確認を行い提供を進めている。提供の際はアレルギー提供手順書に従って提供を行っている。	・継続して栄養士等と連携して対応していく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	・安全計画を作成し、内容に基づいて研修・訓練を実施している。	・継続して安全管理を徹底して実行していく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	・安全計画に基づいて、避難訓練や避難経路、夏季の過ごし方などまゆみ通信を通して周知を図っている。	・継続して行っていく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・ヒヤリハットが起きた時にはすぐ共有を行い、周知し、再発防止に努めている。月のミーティング内で再度注意喚起を行っている。	・継続して行っていく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	・全職員対象で研修の実施を行っている。委員会では、虐待防止・身体拘束について検討を行っている。	・継続して行っていく。

	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none">・身体拘束を用いない支援を実施しているが、支援の中で身体拘束に該当しないかその都度話し合いを行っている。その中で気になることがあれば必要に応じて外部と連絡を取り、助言をいただいている。	<ul style="list-style-type: none">・継続して行っていく。
--	----	--	---	---	--	---